

Hi! アンドレです

社会教育指導員
アンドレ・エスタンスラオ

私は先週末、私の友人で東京から来たケイと小野町出身で今は東京で勉強しているジュンと一緒に福島市に行きました。そこで私達は温泉に行きました。



留学時代の友人と土湯温泉にて(中央)

私は一度も温泉に行ったことがありませんでしたし、私は決して温泉に入らないだろ

うと考えていましたが、しかし驚くことに、私は温泉に入りました。私は最初本当に驚きましたが、温泉に行く途中で私をイライラさせていた恥ずかしさを克服することができました。私達が美しい温泉の町に着いた時、私はすぐに美しい風景と自然が町全体を包み込んでいることに気がきました。私達はホテルにチェックインした後で、私の友人は、温泉に入るために私にもっと多くの自信を与える美しい温泉のロープ（ゆかた）に着替えるように最終的に説得しました。私達が温泉に着いた時、美しいばかりでなく、入るとすぐにストレスを取り除いてくれるような温泉の環境に、私は衝撃を受けました。温泉は発疹や筋肉痛のような身体の病気を治すことができると言われました。

しかしながら、温泉の美しさにもかかわらず、日本の文化ではお風呂に入る時は完全に裸になるため、私は温泉に入ることがとても心配でした。裸は良く

ないという考え方で育ちましたので、私は温泉に入らないと断固主張しました。しかし、そこに着くまでに約2時間ドライブし、そして日本人の友人の温泉に入るとどれぐらいリラックスできるかという終わりのない説明に誘惑されて、私はついに温泉に入りました。

私は今、自信を持って驚くべき経験であったと行うことができます。温泉に入る前に、あなたは裸で小さいすに座りシャワーを浴びなければならない。水は非常に熱かったですが、しかし最初の熱のショックの後、私はついに体全部を温泉に沈めました。1分もしないうちに、私は天国にいるようでした。

人生には、知っていることの快適さと知らないことに対する恐れを遠ざけることがくつつくことにより生じる多くのためらいがあります。この感覚において、行動するために誰かを説得するか、あるいは思いとどまらせるか、このどちらかに人間の心は非常に強力になります。知っていることに挑戦することと知らないことに頭から飛び込んでいくことは、ためらった時に非常に役に立ちます。常に自分の快適な場所にいることは、安心し再確認することですが、この殻を打ち破ることはさらに高尚なことです。

新しい人に会うことがうれしいです。

ふるさと小野町会 ふれあい通信

「ふるさとを想う」

白石 正

(合津作出身)

「会社の為に役に立つ」から「社会の為に役に立つ」に大変身すべくもがいております。幸いなことに体力と気力には恵まれ知力がもう少しというところ

です。会社生活から一変した今、自分の住んでいる所(熊谷市)やふるさととはセカンドライフプランに極めて大きな存在です。退職して2年9ヶ月、インターネットという便利なものでふるさと小野町を大変身近に感じております。

「広報おのまち」も読んでおります。最近(は)義父から入手した書籍「小野町のむかしばなし」を楽しんでおります。

ふるさと小野町会に入会し総会では町長穴戸様や商工会会長榎田様の情熱に接する事が出来ましたし、名誉町民第1号・丘灯至夫先生の作品を歌う会に出席し関東に住む小野町出身の人の出会いにも恵まれました。



05-9-2 東京六本木ヒルズ大展望

また、以前より持っていた平成3年版(古い)の小野町のパンフレットも最新版を入手することが出来ました。立派なのでびっくりです。これからは地方の時代です。オンラインワンを目指した「町おこし」が注目されていきます。NHK放送「こんにちちは80ちゃんです」で知ったミネラル野菜の事や黒蜜牛の事は驚きでした。小野町は知識集団・小野高校と小野温泉という自然に恵まれております。また、食文化研究者・小泉武夫先生の賛助も頂きこれらを繋ぎ合わせ益々面白い夢のある「町おこし」を願っております。